

一話 題一

日本の心不全診療の現状と課題

日本医科大学武蔵小杉病院循環器内科
佐藤 直樹

はじめに

本邦の心不全患者数は2025年にむけて増加の一途をたどっている。特に高齢者の心不全患者への対応やそれに費やされる医療費の問題など早急に対応をしなければならない多くの課題がある。超高齢社会である日本は、心不全の市民への啓発から急性心不全、重症心不全の対処に関し、早急に対応することが望まれている。

心不全診療が抱えている課題

2018年3月に日本循環器学会・日本心不全学会合同の急性・慢性心不全診療ガイドラインが公表された¹⁾。10の主な改訂ポイントがあるが、その中で、心不全診療が抱えている3つの課題について紹介する。

1. 心不全の認知不足

欧米では、10年以上前より心不全の啓発活動が盛んに行われるようになり普及しつつある。その最大の目的は、心不全症状・徴候を早期に見つけ、早期に介入することにより心不全の入院を減らし、予後改善に寄与することである。本邦では、2017年10月にマスメディアを通じて、一般向けの心不全の定義が提唱された。“心不全とは、心臓が悪いために息切れやむくみが起り、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です”というものであり、これを利用して一人でも多くの国民が心不全を認知できるようにその啓発を進めていく必要がある。心不全の啓発活動は、日本心不全学会を中心に今後増々強化されると思われるが、各地域でこのような活動がより活発になるようにしていくことが重要である。

2. 急性心不全の初期対応

心不全の認知不足は、患者の医療機関受診の遅延につながる。また、病院到着後の治療においても医療側の早期治療に関する考えが共有されておらず、“時間軸”という観点からあまりにも多様であるという問題が浮き彫りになった。つまり、初期治療を始めるまでの対応時間が様々、治療後の治療の効果を判定するまでの時間も様々という具合に治療する医師によってその対応があまりにも多様であることが予後に関連しているのではないかというのである。この課題に関しては、疫学研究によって発症から病院到着

までの時間、患者を搬送する時間が院内死亡に影響を与えることが実際に検証された²³⁾。新しい心不全の診療ガイドラインでは、このような研究成果を踏まえて、初期対応に時間軸の目安が盛り込まれた。それは、日本中どこで急性心不全治療をうけても同じような時間軸で治療がうけられるようにすることがその目的である。

3. 心不全緩和ケアにおけるアドバンス・ケア・プランニング

心不全の進展過程は、突然悪化したり、末期状態と思われても治療を駆使すると改善したりと終末期の判断がしばしば困難であると言われる。従って、終末期を含めた将来の状態変化に備えるためのアドバンス・ケア・プランニング(ACP)の早期導入が推奨される。ACPとは、意思決定能力が低下する前に、患者や家族が望む治療と生き方を医療者が共有し、事前に対話しながら計画することである。新しい心不全ガイドラインでは、症状増悪、QOLや運動耐容能の低下、心不全入院、利尿薬の頻回の増量、症候性低血圧や腎機能障害悪化、あるいは徐脈等により標準治療が充分に行えない、静注強心薬投与開始等認めた場合に、ACPの導入を考慮することが推奨されている¹⁾。しかしながら、実際どのようにACPを導入するかに関する実践的アプローチ法が十分に確立されているとはいえない。癌の領域から学び医師を含めた多職種で積極的に取り組む必要があり、地域包括ケアの促進に含める形で地域毎に地道な活動が求められる。

まとめ

心不全診療における3つの課題を紹介した。心不全は循環器内科医のみが対応するものではなく、今後患者数が増加し、common diseaseとして医療に携わるすべてのメディカルスタッフが現状と課題を把握し、しっかりと対応できる環境を早期に整備することが求められている。

文 献

1. 日本循環器学会・日本心不全学会合同ガイドライン。急性・慢性心不全診療ガイドライン(2017年改訂版)。http://www.j-circ.or.jp/guideline/pdf/JCS2017_tsutsui_h.pdf
2. Takahashi M, Kohsaka S, Miyata H, et al.: Tokyo CCU Network Council. Association between prehospital time interval and short-term outcome in acute heart failure patients. J Card Fail 2011; 17: 742-747.
3. Shiraishi Y, Kohsaka S, Harada K, et al.: Scientific Committee of Tokyo CCU Network. Time Interval from Symptom Onset to Hospital Care in Patients with Acute Heart Failure: A Report from the Tokyo Cardiac Care Unit Network Emergency Medical Service Database. PLoS One 2015; 10: e0142017.

(受付：2018年12月6日)

(受理：2019年1月31日)